

静岡県掛川市（一般市）

家計改善支援事業

1 市の概要 (H30年度)

人口 117,978 人
保護率 0.27 %



©掛川市社会福祉協議会
キョーちゃん

©掛川市
茶のみやきんじろう

2 支援状況調査 (H30年度)

新規相談受付件数人口10万人(件)
一月当たり 3.0
プラン作成件数人口10万人当(件)
一月当たり 2.8
就労支援対象者数人口10万人当(件)
一月当たり 0.9
就労・増収率(%) 138.5

5 事業実施のポイント

Point

市内5カ所にある「掛川市地域健康医療支援センター(※愛称：ふくしあ)」は相談の入り口でもあるが、幅広い支援体制が機能している。本事業においても、専門職とアウトリーチを行い、相談者と一緒に解決方法を考えることができる事業展開となっている。

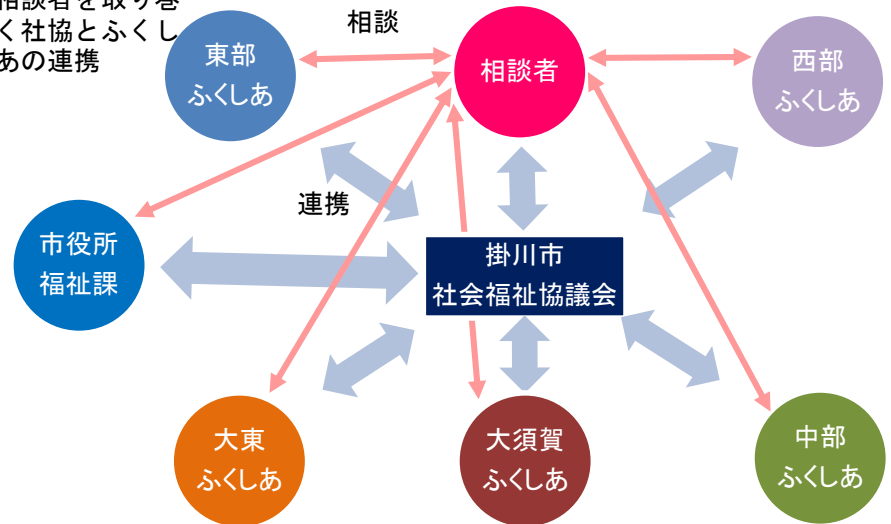
支援調整会議とは別に、毎月1回、本事業担当者と各ふくしあCSW(社協)と「困窮者支援事業共有会議」を行い、解決に向け方法や対策を考え、役割分担し連携を図っている。さらに、必要に応じて「ケース会議」を開催し、ふくしあには定期的な訪問や声掛けをお願いしている。お金に関する困り事だけでなく、相談者が抱え込んでいる背景にある問題にも対応することができる。

※「ふくしあ」とは
住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるよう、医療、保健、福祉、介護について4つの団体が連携して総合支援を行う地域の拠点。多職種(行政、訪看、包括、社協)が配置されている。

3 実施方法について

実施方法	委託(掛川市社会福祉協議会)(単年度契約・随意契約)
事業費	3,046千円(平成30年度)
理由(委託)	○生活困窮者の自立を目指し、経済的な問題のみならず精神的な問題、家庭の問題、健康上の問題など複合的な課題に対し、総合的な支援の必要があるため自立相談支援事業と共に委託。 ○社会福祉協議会は、これまでも福祉総合相談を行っており、相談業務において専門的な知識と人材を持っているため。
事業概要	○平成27年4月より自立相談支援事業と家計改善支援事業を社協へ委託。主任相談支援員、自立相談支援員、家計改善支援員の3人を配置し、自立相談支援事業と一体的に実施。常に相談は2人体制で対応し、収支を細かく聞き取り、数字で家計を「見える化」。相談者自身が課題に気づき、自らが生活再生に取り組めるように支援。 ○必要に応じて、既存事業や社会資源、制度利用に向けて、各関係窓口に同行支援を実施。
その他特記事項	○相談者が自ら家計を管理できるように、相談者自身に収支表の記入をお願いし、次回面談日には作成支援とともに生活状況の変化を確認。

相談者を取り巻く社協とふくしあの連携



4 事業実績 (H30年度)

事業利用者数(支援決定)	家計の改善	住まいの確保・安定	健康状態の改善	就労開始(収入増加を含む)
47人	21件	10件	8件	33件

6 取り組んで良かったこと

- 収支が整い、税等の滞納の解消や、過剰な貸付の防止ができ、生活の再生や自立の支えとなっている。
- 必要な生活費を把握することで、具体的な就職活動に結びついている。